

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 1年 5月 16日

事業所名：いるか

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	学習時間、おやつ時間、室内遊びの時間を確定し、スペースの有効利用に努めています。	はい (11名) いいえ (0名) どちらともいえない (0名) わからない (1名)	参観等で、日々の支援の様子を見ていただける体制を作っていきたい。
	2 職員の適切な配置	日々の利用人数が定まっていないので、大体子ども4人に1名スタッフがついている。	はい (6名) いいえ (0名) どちらともいえない (1名) わからない (5名)	子ども3人に1名をつけれる様目標にしたい。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	現在の利用者では、特に不備は感じられない。	はい (8名) いいえ (0名) どちらともいえない (0名) わからない (4名)	現状のままで良いと思う。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃は出来ているが、細部までは行き届いていない。	はい (9名) いいえ (0名) どちらともいえない (1名) わからない (1名)	徹底する様、心がけていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	スタッフ間の伝達、確認は出来ている。		現状のままで良いと思う。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	今年4月に利用者、保護者へのアンケートをしました。		アンケートの結果を踏まえて、改善していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員に声かけ、日時が合えば参加しています。		職員全員参加を目標に声を掛けていく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	日々の送迎時に、保護者とのコミュニケーションを取りながら、ニーズや課題等を聞き取っている。	はい (8名) いいえ (0名) どちらともいえない (1名) わからない (3名)	現状維持を保ちながら保護者のニーズに答えていきたい。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	様子を見ながら、グループ等を組み替えたりして工夫している。		子どもの状況を把握し、保護者の意見も相談しながら取り入れて支援計画を行なっていきたい。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	現状では、それについては出来ていると思う。	はい (7名) いいえ (0名) どちらともいえない (0名) わからない (5名)	質の高い計画を立てていきたい。

初な支援の提供t(続き	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画に基づき、本人の特性に対応した支援を行なっています。	はい (9名) いいえ (0名) どちらともいえない (0名) わからない (4名)	より一層、細やかな支援を立てていきたい。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	その都度の個々の意見に対応していく。		定期的にスタッフ会議を開き、意見をまとめていきたい。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	フレキシブルな内容で支援を行なっています。		より一層、細やかな支援を続けていきたい。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	現状は努力、目標	はい (5名) いいえ (0名) どちらともいえない (1名) わからない (6名)	季節毎の製作等、児童と一緒に作り上げ、また新しい事にもチャレンジしていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	出勤時間に差があり、現状では努力目標		ノートやメモ等で伝達していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	退社時間がバラバラなので、当日の伝達は難しいがメモで伝えられる様にしている。		ノートやメモ等で伝達していく。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個人の記録を記入する様にした。		療育記録ノートを新しく作成して記入する様にした。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6か月毎に個別支援計画はお渡ししているが、その間の見直しは出来ていない。		支援計画の達成度合や修正点について見直していきたい。	
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	現状では参加していない。		必要に応じて参加していきたい。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	対象となる利用者はいない。		

関係機関との連携	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	対象者なし。			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	園への送迎時に先生との会話で最小限の情報交換をしている。		時間可能な限り、担任の先生との対話で情報交換をしていきたい。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	まだ卒業者はいない。			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	現状では参加出来ていない。		日時が合えば参加していきたい。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現状では提供出来ていない。	はい (4名) いいえ (3名) どちらともいえない (0名) わからない (5名)	近隣の学校、幼稚園等でのイベントに積極的に参加していきたい。	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現状では行なわれていない。		現状の規模では難しいと思う。	
		1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用者負担は入所時に詳しく説明している 支援内容については、その都度説明する必要があると考える。	はい (9名) いいえ (0名) どちらともいえない (3名) わからない (0名)	より一層の理解を得てもらえる様に丁寧な説明を心掛ける。
		2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画以外には特に説明していません。	はい (7名) いいえ (1名) どちらともいえない (1名) わからない (3名)	保護者とお会いして、説明する機会を増やしていきたい。
3		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現状では実施していない。	はい (2名) いいえ (2名) どちらともいえない (1名) わからない (7名)	必要に応じて、支援していきたい。	
4		子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時の保護者との会話で、状況課題について話しをしている。	はい (12名) いいえ (0名) どちらともいえない (0名) わからない (0名)	より一層の連絡帳や口頭で保護者とのコミュニケーションを計っていきたい。	

保護者への説明責・連携	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	その都度、その場で話しをしたり時には来て頂きゆっくりと話しを聞いたりしている。	はい (6名) いいえ (0名) どちらともいえない (3名) わからない (3名)	出来るだけ時間を作り、保護者とのコミュニケーションを計り、信頼を得ていきたい。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会、保護者会は行なっていなかった。	はい (0名) いいえ (3名) どちらともいえない (1名) わからない (8名)	現状では、開催する事は難しい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対しては迅速に対応し、解決を図るよう心がけている。	はい (8名) いいえ (0名) どちらともいえない (3名) わからない (1名)	今後も迅速な対応で問題を解決して安心してもらえる様、努力していきたい。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳にて、日々の様子を報告している。	はい (10名) いいえ (0名) どちらともいえない (2名) わからない (0名)	送迎時に連絡帳と共に、保護者の方に伝達していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	努力目標。	はい (2名) いいえ (3名) どちらともいえない (1名) わからない (6名)	月のたよりを発行していき、行事や活動内容を報告していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	同じ学校や幼稚園以外では個人名は出していない。	はい (10名) いいえ (0名) どちらともいえない (0名) わからない (2名)	配慮しながら保護者間の交流にも取り組んでいきたい。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	基本的な事は、決まっているが徹底されているとは言えない。	はい (4名) いいえ (3名) どちらともいえない (0名) わからない (5名)	文章化して、職員や保護者の周知徹底していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	現状では、行なわれていなかった。	はい (3名) いいえ (1名) どちらともいえない (0名) わからない (8名)	今後は定期的実施する予定。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	現状では出来ていない。		ミーティングで再度確認して徹底していきたい。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行なわないといけない利用者がいないので記載した事は無い。		

	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づき適切な対応	ご家族の報告により個々に対応している。		アレルギーを持つ、児童は少ないので職員全員に周知している。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ノートはあるが、事例が少なく活用出来ていない。		小さな事でも記入し、活用して安全を心掛けていく。